

東消のスーパーピューマ落札 海外へリース提案か

ITCエアロスペース



(株)ITCエアロスペースお

本で重整備作業を行った上は年間約35機あり、同社は新

前・東京消防庁のスーパーピューマ「ゆりかもめ」

よび(株)ITCリシ
ンク(本社・東京都
中央区、中山智夫社
長)は東京消防庁が
大型防災ヘリとして
長年使用、活躍し、
今年退役となったI
988年製大型ヘリ
コプター・スーパー
ピューマ「ゆりかも
め」(1988年製
造、登録番号JA9
676、型式AS332
L1)を1月に同庁
が実施した公開入札
で落札、2月中旬に
ITCが購入し、日
本で重整備作業を行

で、同社は国内外のヘリ運航
会社により事業機として、
すでにこの機体を国内および
海外の有力航空会社に対して
中・長期のリースを提案して
おり、近くまとまるもよう。
東京消防庁航空隊(前川貞
之航空隊長)では、同型機の
後継機としてスーパーピュー
マのアップグレード型、EC
225「ゆりかもめ」JA119Yを
導入し、昨年4月11日に立川
基地で就名披露式を行って
いる。これまで、日本の政府、地
方自治体、民間航空会社が長
年使用して退役となる航空機
は年間約35機あり、同社は新
機航空機の販売・リース事業
に加えて、中古の機体を積極
的に落札ないし購入して世界
の航空会社に多くの機体を販
売してきた実績を持つ。
ITC、リースに重点
同社は、現在国内および海
外で多くの航空機をリースし
ている中で、今回はこうした
大型ヘリコプターを購入し、
単純な売却でなく、同社のリ
ース資産として世界の航空会
社にリースする形で、マーケ
ッティングを開始した。
すでに国内の運航会社一
社、海外からはEU2社、北
米1社から短期・長期リース
の引き合いを受けている。用
途は主に海底油田用人員・物
資輸送、森林火災消火、VI
P・旅客輸送、救難・救助作
業の市場が対象となり、引き
合いの多くは石油会社、大手
エンジニアリング会社、政府、
州政府、緊急医療・救難会社
などである。
従来、日本から海外に売却
される中古航空機は整備が良
く行き届いており、不具合箇
所も少ないことから海外の航
空会社からの需要は底堅く、
同社はこうした機体をリース
組成してより付加価値のある
形で今後のリース事業を積極
的に展開を図っていく。